教員個人調書総括表

氏名：　　　　　　　　　　　　　　　印

作成された教員個人調書（履歴書・教育研究業績書）（以下，調書という。）に記載した内容において実績（年数，件数等）をまとめる表となっています。記入例を参考に①～⑤の「教育研究業績」について下表の「業績の内容・基準等」にあたる実績をご記入ください。（※本表に記載される事項等については調書に，事項・年月日・概要等を記載してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教育研究業績 | 業績の内容・基準等 | 実績について（年数・件数等） |
| ①教育 | 高等教育機関における教育経験とし，非常勤講師によるものを含む。 |  |
| ②研究 | ア(1)　学術書，学術論文（過去10年間）  1　専門分野に関わる教科書（大学生以上を対象）は，学術書とすることができる。  2　学術論文以外の報告書等は，本人の専門分野に関わる著作物である場合には「調査報告書等」として学術論文とすることができる。  3　講演要旨は，「発表論文」として学術論文とすることができる。  4　査読付きについては，国際学会プロシーディングを含む。  なお，芸術等の分野については，学術書，学術論文に相応する作品発表，演奏発表などとする。この場合は，審査付きの展覧会，公開のリサイタルなどを「査読付き」とする。 |  |
| ア(2)　国内及び国際学会での研究発表（口頭，ポスター），シンポジウム，フォーラム等での発表（上記ア(1)3の講演要旨に係るものは除く）  なお，芸術等の分野については，上記ア(1)に含まれない発表等とする。 |  |
| イ　実務上の実績による場合は，過去10年間において，先導的，指導的な立場にあって卓越した実績で，その内容等の一部が公開されているもの。 |  |
| ③社会連携・国際連携 | 学外での各種講演会などの実績とし，次に示す活動を含むものとする。（過去10年間）  ア　教育委員会教育委員，国・地方自治体の審議会委員，学会の役員（理事，評議員，各種委員など），財団法人・社団法人・社会福祉法人等の役員や委員，会社等の社外役員，学校協力者会議委員，学校評議員など  イ　小学校・中学校・高等学校等の教科書執筆，それらに関わる指導書や指導の手引きの執筆など  ウ　国内外の大学との研究・教育に関する各種の共同事業への従事など  エ　学外における各種の講座（社会人向け講座等），研修会（校内研修会等）の講師など  オ　地方自治体・各種の公的団体からの要請や共同・協働による研究，文化振興等の活動への従事など  カ　本学主催の公開講座の講師，高大連携事業の講師，教員免許更新講習の講師など |  |
| ④管理運営への参画 | 全学レベルでの役職や委員の実績（副学長，学部長，学科主任，コース主任，各種センター・委員会・ワーキンググループ等の委員），及び学科・コースでの校務担当の実績。  部署内や業務プロジェクトのメンバー，ティーチングアシスタントのリーダー等の管理的な役割の実績。 |  |
| ⑤外部資金の獲得 | 教員が個人レベルで応募する科学研究費助成事業などの競争的資金の採択実績とし，研究種目等，主担者，分担者は問わない。また，地方自治体・公的団体・民間団体企業等からの委託研究，共同研究，各種事業に対する予算の獲得などを含む。（過去10年間） |  |

教員個人調書総括表（記入例）

氏名：　●　●　●　●　●　　印

作成された教員個人調書（履歴書・教育研究業績書）（以下，調書という。）に記載した内容において実績（年数，件数等）をまとめる表となっています。記入例を参考に①～⑤の「教育研究業績」について下表の「業績の内容・基準等」にあたる実績をご記入ください。（※本表に記載される事項等については調書に，事項・年月日・概要等を記載してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教育研究業績 | 業績の内容・基準等 | 実績について（年数・件数等） |
| ①教育 | 高等教育機関における教育経験とし，非常勤講師によるものを含む。 | 経験年月数を記入してください。  ○○大学○○学部○○学科　ティーチングアシスタント　○年○月  ○○大学○○学部○○学科　助教（専任）　○年○月  ○○大学○○学部○○学科　講師（専任）　○年○月  ○○大学○○学部○○学科　准教授（専任）　○年○月  ※各経歴において期間の重複の無いよう記入してください。非常勤講師など複数の経歴の期間が重複する場合は，最も主要な経歴を記入してください。 |
| ②研究 | ア(1)　学術書，学術論文（過去10年間）  1　専門分野に関わる教科書（大学生以上を対象）は，学術書とすることができる。  2　学術論文以外の報告書等は，本人の専門分野に関わる著作物である場合には「調査報告書等」として学術論文とすることができる。  3　講演要旨は，「発表論文」として学術論文とすることができる。  4　査読付きについては，国際学会プロシーディングを含む。  なお，芸術等の分野については，学術書，学術論文に相応する作品発表，演奏発表などとする。この場合は，審査付きの展覧会，公開のリサイタルなどを「査読付き」とする。 | 過去10年間（本年度含まず）における学術書，学術論文の実績（数）について記入してください。  過去10年間において，○○編  そのうち学術論文については査読付き○○編 |
| ア(2)　国内及び国際学会での研究発表（口頭，ポスター），シンポジウム，フォーラム等での発表（上記ア(1)3の講演要旨に係るものは除く）  なお，芸術等の分野については，上記ア(1)に含まれない発表等とする。 | 研究発表等の実績（回数）について記入してください。  （　）に調書に記載したページ番号を記入してください。  令和○○年度　○○回　（P.●～●）  令和○○年度　○○回　（P.●）  令和○○年度　○○回　（P.●～●） |
| イ　実務上の実績による場合は，過去10年間において，先導的，指導的な立場にあって卓越した実績で，その内容等の一部が公開されているもの。 | 令和○○年度　　○○○○○○○  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  ・・・・（内容等を記入してください。） |
| ③社会連携・国際連携 | 学外での各種講演会などの実績とし，次に示す活動を含むものとする。（過去10年間）  ア　教育委員会教育委員，国・地方自治体の審議会委員，学会の役員（理事，評議員，各種委員など），財団法人・社団法人・社会福祉法人等の役員や委員，会社等の社外役員，学校協力者会議委員，学校評議員など  イ　小学校・中学校・高等学校等の教科書執筆，それらに関わる指導書や指導の手引きの執筆など  ウ　国内外の大学との研究・教育に関する各種の共同事業への従事など  エ　学外における各種の講座（社会人向け講座等），研修会（校内研修会等）の講師など  オ　地方自治体・各種の公的団体からの要請や共同・協働による研究，文化振興等の活動への従事など  カ　本学主催の公開講座の講師，高大連携事業の講師，教員免許更新講習の講師など | 過去10年間（本年度含まず）におけるア～カについて，それぞれの活動実績（件数）を記入してください。  （　）に調書に記載したページ番号を記入してください。  アに関するもの：○○件　（P.●～●）  イに関するもの：○○件　（P.●）  ウに関するもの：○○件　（P.●～●）  エに関するもの：○○件　（P.●）  オに関するもの：○○件　（P.●）  カに関するもの：○○件　（P.●～●） |
| ④管理運営への参画 | 全学レベルでの役職や委員の実績（副学長，学部長，学科主任，コース主任，各種センター・委員会・ワーキンググループ等の委員），及び学科・コースでの校務担当の実績。  社内・部署内の業務プロジェクトのメンバー，ティーチングアシスタントのリーダー等の管理的な役割の実績。 | 管理運営への参画実績について，役職や委員の名称等及び務めた年数を記入してください。  （　）に調書に記載したページ番号を記入してください。  ○○○委員長　　○年 |
| ⑤外部資金の獲得 | 教員が個人レベルで応募する科学研究費助成事業などの競争的資金の採択実績とし，研究種目等，主担者，分担者は問わない。また，地方自治体・公的団体・民間団体企業等からの委託研究，共同研究，各種事業に対する予算の獲得などを含む。（過去10年間） | 過去10年間（本年度含まず）に獲得した年度，事業等の名称を記入してください。  （　）に調書に記載したページ番号を記入してください。  令和○○年度　　○○○○事業　（P.●）  令和○○年度　　○○○○事業　（P.●～●） |